



善正寺だより

掲示板法話

子供こそは 大人の父

子供こそは いのちのふるさと



立春を過ぎててもなお、寒い冬が続いています。大震災以来まもなく一年になる被災地の冬はさぞ厳しいことと思えます。しかし、1月28日付・毎日新聞の「あきらめることはない」というコラム「近聞遠見」(岩見隆夫論説委員)を読み、寒さの中で熱い感動を覚えました。

昨年三月十一日の直後、ベトナム人の記者がある避難所取材したときの佳話。津波で両親亡くした少年が寒さと飢えで震えているのを見て、記者が自分のジャンパーを着せるとポケットからバナナが一本こぼれ落ちました。「バナナ、ほしいか?」と問うとうなずいたので手渡すと少年はバナナを食べず、避難所の片隅にある共同の食材置き場に走って行って元の所に戻ってきたというのです。ベトナムの新聞に「こういう子供はベトナムにいない...」と書いたら、大変な反響があり、「バナナの少年に上げてください」という条件付の義援金が5万ドル(約四百万円)も集まったそうです。ベトナムの所得水準は日本の十分の一以下ですから数千万円の好意が寄せられたことになりました。

岩見氏は、戦後米軍の将校からパンを与えられた靴磨きの少年が自分は食わずに妹のために袋に入れた逸話も紹介し、被災少年の心に日本人らしい美質(分かち合いの心)が根付いている。そこに希望の光を見出そうと訴えています。私もこの記事により、昔読んだ靴磨きの少年の話の思い出しました。

ある作家がガード下で靴磨きを頼んだとき、少年が少し磨いては靴を持ち上げてじっと見つめるようなことを繰り返した。磨き終わってお金を払う際、「坊や、君は靴を磨きながら何度も靴を上にかざして見つめていたが、あれは何をしていたのかね?」と尋ねると、「おじさん、僕の磨いた靴にはお星さまが映るんだ!」と答えた、という。精一杯靴磨きに打ち込む少年のけなげさにおじさんは心を打たれたのです。「僕が磨いた靴にはお星さまが映るんだ」という言葉は、少年が亡き両親に向かって叫んだ言葉ではなかっただろうか、とさえ思われ、廃墟の中で希望の灯を見つけた、とありました。

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
TEL:0593-31-1670
FAX:0593-32-0733

★行事ご案内★

★春季永代経

3月17(土)午後1時半、夜7時半
18(日)午後1時半

講師 尾崎裕正先生(奈良)

※永代経のお経開きは17日午前10時半より

◇キッズサンガ 3月3日(土)午後4時よりお友達誘って来てね 毎日夕方5時の鐘撞きは誰でもOK 飴ガム付。年中無休

◇三重組コーラス 3/12(月)午後1時半 静岡南荘宏先生講習会 智積西勝寺様で

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。開設3年5ヶ月で6万アクセス突破、一日70以上訪問

〈予定〉

☆3月13日(火)午前午後 三重組「十三日講」高角円勝寺様

☆3月20日(火)夜7時 三全仏教婦人会総会 光念寺様

☆4月21日(土)午後1時半「初参式と降誕会」(三全仏婦主催)

赤ちゃんや幼児を大募集中!地域の皆で子供の成長を祝福。

参加費千円(写真・記念冊子・数珠、赤飯)是非この機会に!

(募集のお知らせ)

☆4月13日(金)京都山科別院「親鸞聖人750回大遠忌法要

参拝」(ご門主様ご出座)申し込み先、館勇次(電話059・

331・9411)まで、お早めに奮ってご応募下さい。

☆寄稿

モノはなくても「親から、仏様から頂きたいのちの尊さ」を見失わなければ必ず立ち上がれます。我々大人こそ少年に学ばなければなりません。「子どもこそは大人の父、子どもこそはいのちのふるさと」(東井義雄師)

(左) 報恩講のお非時風景



2/4キッズサンガ、トランプ遊び 年末次男聡&美紀結婚式

坊守スケッチ

私の脳トレとは?

最近、私が秘かに実践していることがある。ここに書いてしまえば、世間に知れ渡ることになるが、悪いことではないので、まあいいかなと思う。

昨年二人の息子が相次いで結婚したのを契機に、今までの仕事をリセットして少しのんびりすることにしました。しばらくして時間の余裕が出来ると、元来せかせか人間の私は、このままではボケないかと、心配になってきた。還暦を二年も過ぎた現在「あれ」「それ」の会話が多くなり、時々人の名前が出てこない。これではダメだと反省して、朝の散歩時に脳トレを実践することにした。名づけて「充子流脳トレ」。誰でもすぐに出来るが、真似するような変わり者はいないだろう。やり方はいたって簡単。歩きながら、歌を口ずさむだけのこと。行進曲代わりになつて、足取りも軽い。その歌というのが、昨年の親鸞聖人七五〇回大遠忌法要の音楽法要で勤められた『和讃』。三重組お待ち受け法要でも、全僧侶や三重組コーラスが、四日市文化会館で歌声高らかに勤めた。当時は一生懸命練習したが、それ以来冬眠状態。あの時は、経本の楽譜に頼って、音程を外しはしないかと神経を配った。しかし今は違う。聞いているのは森の草木と一緒に歩く住職だけ。まだ薄暗い夜明け



前の散歩道を、誰に遠慮するわけでもなく歌いだす。♪じっぼうみじん せーかいの・・・♪と声に出すと、私の頭の中で「十方微塵世界の・・・」と漢字に変換される。急な坂道も歌を口ずさみながら歩くと、疲れも吹っ飛ぶ。朝日が東の空に顔を覗かせる頃、「弥陀大悲の誓願」に導かれている私であったと気付く。何度も繰り返すうちに、その世界にどっぷり浸からせてもらう喜びがじわっと湧く。まさしくこれが「心行共に得しむなれ」だろう。

私の脳トレは、和讃だけに留まらない。だんだんエスカレートする。三重組コーラスで歌った仏教讃歌の『しんらんさま』や『念仏』へと広がる。ハモルように歌うのだが、上手いかな。誰に聞かせるわけではなく、自己満足で歌うのだからこれでいい。凍りつくような雪の朝も、親鸞様がそっと私に寄り添って、一緒に歩いて下さるような感動が味わえる。帰路の三十分間は『正信念仏偈』。歩くテンポにあわせて節をつける。途中誰かと挨拶を交わすと、何処まで進んだか戸惑う。予防策として住職はポケットに小さいお経本を忍ばせる。だから帰り道は出来るだけ車や人通りの少ない住宅地を選んで歩く。通り道の家人から「変な散歩人が毎朝通る」と怪しまれ

ないように、小声で勤める。お念仏はいつでも何処で唱えてもよい。お経もお仏壇の前だけとは限らない。親鸞様だって難しい漢字だけのお経を、和讃という歌にして親しみ易くされた。住職は、私の脳トレにしぶしぶ付き合われて、ウンザリしているのか、楽しんでいのか、一体どちらだろう?

☆ホットニュース☆

(募集のお知らせ)

◇四月十三日(金)京都山科別院親鸞聖人750大遠忌法要参拝(二)門主様(ご出座!)申し込みは小杉館勇次まで(電話059・331・9411)

◇四月二十一日(土)午後一時三全仏壇主催「初参式」赤ちゃんや子供さんを大募集!参加費千円、申し込みは善正寺へ。わが初孫も参拝予定。お友達や親戚にも声を掛けて下さい。

◇四月二十一日(土)午後一時三全仏壇主催「初参式」赤ちゃんや子供さんを大募集!参加費千円、申し込みは善正寺へ。わが初孫も参拝予定。お友達や親戚にも声を掛けて下さい。

◇四月二十一日(土)午後一時三全仏壇主催「初参式」赤ちゃんや子供さんを大募集!参加費千円、申し込みは善正寺へ。わが初孫も参拝予定。お友達や親戚にも声を掛けて下さい。

◇四月二十一日(土)午後一時三全仏壇主催「初参式」赤ちゃんや子供さんを大募集!参加費千円、申し込みは善正寺へ。わが初孫も参拝予定。お友達や親戚にも声を掛けて下さい。

◇四月二十一日(土)午後一時三全仏壇主催「初参式」赤ちゃんや子供さんを大募集!参加費千円、申し込みは善正寺へ。わが初孫も参拝予定。お友達や親戚にも声を掛けて下さい。

◇四月二十一日(土)午後一時三全仏壇主催「初参式」赤ちゃんや子供さんを大募集!参加費千円、申し込みは善正寺へ。わが初孫も参拝予定。お友達や親戚にも声を掛けて下さい。

◇四月二十一日(土)午後一時三全仏壇主催「初参式」赤ちゃんや子供さんを大募集!参加費千円、申し込みは善正寺へ。わが初孫も参拝予定。お友達や親戚にも声を掛けて下さい。

◇四月二十一日(土)午後一時三全仏壇主催「初参式」赤ちゃんや子供さんを大募集!参加費千円、申し込みは善正寺へ。わが初孫も参拝予定。お友達や親戚にも声を掛けて下さい。

◇四月二十一日(土)午後一時三全仏壇主催「初参式」赤ちゃんや子供さんを大募集!参加費千円、申し込みは善正寺へ。わが初孫も参拝予定。お友達や親戚にも声を掛けて下さい。

◇四月二十一日(土)午後一時三全仏壇主催「初参式」赤ちゃんや子供さんを大募集!参加費千円、申し込みは善正寺へ。わが初孫も参拝予定。お友達や親戚にも声を掛けて下さい。

◇四月二十一日(土)午後一時三全仏壇主催「初参式」赤ちゃんや子供さんを大募集!参加費千円、申し込みは善正寺へ。わが初孫も参拝予定。お友達や親戚にも声を掛けて下さい。

平成24年度今後の主な行事予定

◇「春季永代経」3月17(土)午後と夜・18(日)午後尾崎裕正師(奈良)

◇4月21日(土)午後1時半「初参式・降誕会」加藤幸子師三全仏壇主催の初参式に赤ちゃん及び幼児を大募集!

参加費千円 記念写真・赤飯・冊子進呈。地域の皆で子供成長をお祝いしましょう

◇5月20日(日)午前は門信徒総会、午後1時「公開法座」講師石川欣也師(奈良) お誘いあわせて「参拝を!

◇「秋季永代経」8月18(土)・19(日) 午後加藤正人師(桑名)

◇「報恩講」11月2日午後1時半と夜6時半・3日午前10時・午後1時三全仏壇報恩講 講師大畠信隆師(岸和田)

今年から報恩講が11月に変わりますので、よろしくお願ひします。

◇「秋勧進」11月23日午前

◇「お内仏報恩講」12月1日(土)夜

※毎月の善正寺門信徒会例会は、原則として第3日曜日の夜7時半より。

♪三重組コーラス♪

☆練習場所は智積西勝寺様で午後1時半・☆3/12(月)(静岡・南荘宏先生をお迎えして仏教讃歌の講習会)

キッズサンガ・杉の子合唱団

☆3月3日(土)午後4時より

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」二一九号をお届けします。◇寒さ身にしむ冬。だが、暖かいご飯が頂ける幸せ、暖かい布団で眠れる幸せ等を忘れたらもつとお寒い人生です。仏様は人間性回復の名医です。

☆カンパ有難う☆
飛鳥様・伊藤様・他匿名様より

寒さも緩んで春はさこまで来ています。三月は我家にとりて待ち遠しい初孫誕生月。住職はイクメンならぬ有爺に徹すると宣言。生まれる前からこのはしゃぎようで先が思いやられます。昨年末に結婚した次男の新所帯に新しいお仏壇を買いました。新車にするか仏壇にするか。と尋ねたら「車は車検を受ければまた乗れる。仏壇がいい」と言うので、親として一安心しました。新生活をスタートするにあたり、大型テレビや新車を用意する家は多いのですが、仏壇を迎える家は殆どなくなっているのが現状です。昔の親はたとえどんなに質素な生活をしていても、新家分りをする際、仏壇を買えば身えました。寝て食べるだけの家ならば木づらに過ぎない精神的支柱があり、家族が拌み合っていてこそ品格のある家庭となること教えました。今は「老親が老人ホームに入るから古い仏壇なんて要らない」と拒否する子供もいます。私がお手本にしたい門徒さん家族がいます。離れた所に住む二人の息子さん家族の都合に合わせ、報恩講や盆参りの日取りをきかれます。元旦会にも家族全員が本堂参拝。とかく仏事は年寄の仕事を割り切って、若者に伝える努力を怠りからず、か、親の熱心な導きこそが、家族の絆と地域の絆作りの根幹ではないでしょうか。三月は十七(壬子)十八(丑)と「永代経」講師は尾崎裕正先生です。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。合掌

平成二十四年三月

善正寺 坊守 拝